

# **豊岡市市政経営方針 (第1版)**

**計画期間 2018年度～2021年度 【4年間】**

**平成29年12月**

**豊岡市**

## もくじ

第1章	市政経営方針の位置付け	1
第2章	基本構想戦略体系に基づく取組方針	2
第3章	市政経営方針	4
主要手段1	具体的手段(1)に係る取組方針	4
	具体的手段(2)に係る取組方針	6
	具体的手段(3)に係る取組方針	8
主要手段2	具体的手段(1)に係る取組方針	12
	具体的手段(2)に係る取組方針	14
主要手段3	具体的手段(1)に係る取組方針	18
	具体的手段(2)に係る取組方針	20
主要手段4	具体的手段(1)に係る取組方針	24
	具体的手段(2)に係る取組方針	26
主要手段5	具体的手段(1)に係る取組方針	30
	具体的手段(2)に係る取組方針	32
主要手段6	具体的手段(1)に係る取組方針	36
	具体的手段(2)に係る取組方針	38
	具体的手段(3)に係る取組方針	40
第4章	市民の暮らしを支える施策の体系・主要事業	42

# 第1章 市政経営方針の位置づけ

## 1 豊岡市基本構想との関係

市政経営方針は、基本構想に定めたまちの将来像「小さな世界都市ーLocal&Global Cityー」を実現するための重点的な政策及びその戦略的な進め方を示す方針です。

市長は、戦略的な市政経営を行うため、4年間の市政経営方針を策定します。

### 【豊岡市基本構想と市政経営方針との関係性】



## 2 市政経営方針で定めること

市政経営方針は、基本構想の主要手段に記載した状態を達成するための具体的手段について、今後4年間の取組方針及び事業を例示します。

## 第2章 基本構想戦略体系に基づく取組方針

長期目標	命への共感に満ちたまち (イメージ…みんなが幸せを感じられるまちになっている)
戦略目的 (中間目標)	小さな世界都市 - Local&Global City - ローカルであること、地域固有であることを通じて世界の人々から尊敬され、 尊重されるまち

主要手段 1	自然との共生が徹底されている
--------	----------------

具体的手段(1)	災害に備え、地域の防災力が高まっている
----------	---------------------

- ア 市民が過去の大災害の教訓や豊岡の地理的な特性を知っている
- 取組方針  
イ 世代間・地域内交流が行われている  
ウ 災害に備えた行動や訓練が実践されている

具体的手段(2)	自然と折り合う暮らしがまちに根付いている
----------	----------------------

- ア 市民が豊岡の自然再生や地球温暖化対策の必要性を理解し、実践している
- 取組方針  
イ 市民、地域、企業、団体等の普段の活動の中に環境適合性が浸透している  
ウ 持続可能な地域資源の利用が促進されている

具体的手段(3)	環境と経済の共鳴が広がっている
----------	-----------------

- ア 環境経済の考え方に共感する市民が増えている
- 取組方針  
イ 環境経済事業に取り組む企業が増えている  
ウ 環境負荷低減によるコスト削減に取り組む企業が増えている

主要手段 2	地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている
--------	------------------------------------

具体的手段(1)	伝統的な町並みなどが大切にされ、活用されている
----------	-------------------------

- ア 地域固有のもの（こと）に価値があることが認識されている
- 取組方針  
イ 地域資源の価値が高まっている  
ウ 地域資源の価値の保全や再生の活動が活発になされている

具体的手段(2)	地域の資源が発掘され、つながり、連携が強まっている
----------	---------------------------

- ア 官民連携による新たなツーリズムが生まれている
- 取組方針  
イ 地域間や産業間のつながりが深まっている  
ウ 必要な情報がターゲットに届いている

主要手段 3	優れた文化芸術が創造され、人々が楽しんでいる
--------	------------------------

具体的手段(1)	優れた文化芸術に身近に触れられる環境が整っている
----------	--------------------------

- ア 優れた文化芸術が暮らしの中に受け入れられている
- 取組方針  
イ アーティストを応援する風土が育っている

具体的手段(2)	文化芸術による交流が盛んになっている
----------	--------------------

- ア 地域の伝統文化が守られている
- 取組方針  
イ 文化芸術と観光の親和性が理解されている  
ウ 他の観光資源とつながり、まちの魅力が高まっている

<b>主要手段 4</b>	<b>多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている</b>
<b>具体的手段(1)</b>	<b>多様性がまちの原動力になっている</b>
取組方針	ア 多様な人々がまちづくりや経済活動の中で生き生きと役割を果たしている イ 多様性の価値が理解され、生かされている
<b>具体的手段(2)</b>	<b>さまざまなつながりの中で、それぞれの役割が果たされている</b>
取組方針	ア つながりを創る人や組織の活動が増えている イ つながりを醸成する場が増えている
<b>主要手段 5</b>	<b>内発型の地域産業がすくすくと育っている</b>
<b>具体的手段(1)</b>	<b>地域産業が切磋琢磨し、新たな道を切り拓いている</b>
取組方針	ア 市内企業の経営の安定と強化が図られている イ 市内企業間の事業連携や取引が強化されている ウ 市内企業の事業の拡大や新たに起業・創業する人が増えている
<b>具体的手段(2)</b>	<b>豊岡ブランドが構築されている</b>
取組方針	ア 豊岡固有の商品・サービスが磨かれ、魅力が高まっている イ 豊岡固有の高付加価値な商品・サービスが国内外に認知されている ウ 豊岡にしながら世界から評価されるモノ、技術、サービスを提供する企業が増えている
<b>主要手段 6</b>	<b>子どもたちが地域への愛着を育み、豊岡で世界と出会っている</b>
<b>具体的手段(1)</b>	<b>子どもたちが豊岡のことをよく知っている</b>
取組方針	ア 学校園でのふるさと教育が充実している イ 地域での遊びや体験を通じてふるさとへの愛着が増している
<b>具体的手段(2)</b>	<b>子どもたちがさまざまなコミュニティの中で役割を果たしている</b>
取組方針	ア 子どもたちの活躍の場やそれを支える人材が増えている
<b>具体的手段(3)</b>	<b>子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる</b>
取組方針	ア 子どもたちが多様な人々とコミュニケーションできる力を育んでいる

この表のうち、基本構想には、長期目標、戦略目的（中間目標）、主要手段及び具体的手段を階層的に記載しており、市政経営方針では、さらにその下の階層となる4年間の取組方針及び事業例を記載しています。

## 第3章 市政経営方針

### 主要手段1 自然との共生が徹底されている

#### 具体的手段(1) 災害に備え、地域の防災力が高まっている

我が国は災害列島と呼ばれ、毎年のように各地で大災害が起きています。そのことを認識し、自然災害に対する危機意識を高めなければなりません。

私たちは、平成16年(2004年)の台風23号をはじめとする過去の災害の教訓を踏まえ、「みんなの力で命と暮らしを守る」ことを理念に、防災・減災対策に取り組んでいます。災害の規模が大きくなるほど、自主防災組織など地域の人々の協力(共助)が大きな力を発揮します。そのためには、日頃から地域の自主防災活動や近所同士の関わり合いが大切です。

災害は必ず起きることをリアルに想定し、減災の考え方に立ち、自助、共助、公助により、まち全体の災害対応能力を高めていきます。

#### ■取組方針

自然をいたずらに力で押し込めようとするのではなく、自然を理解し、恐れ、恵みに感謝する基本姿勢に立って、「賢く逃げる」態度と習慣を養います。

- ア 市民が過去の大災害の教訓や豊岡の地理的な特性を知っている
- イ 世代間・地域内交流が行われている
- ウ 災害に備えた行動や訓練が実践されている

\*自然災害への備えとして国や県の治水事業等ハード整備を要望し、促すことは、今後も当然のこととして進めていきます。しかし、基本構想の中で「小さな世界都市」の条件として挙げられている「自然との共生が徹底されている」という観点からは、人々の自然観や自然と向き合う態度こそが重要、との考えから、この「市政経営方針」にはあえて記載していません。



各地域で行っている防災の啓発事業

## ア 市民が過去の大災害の教訓や豊岡の地理的な特性を知っている

災害列島と呼ばれる私たちの国で、地震や台風等、それ自体を避けることはできません。しかし、大災害の経験や教訓は、何もしなければ時間とともに薄れてしまいます。私たちは、平成16年（2004年）の台風23号で得た教訓をもとに、将来起こりうる災害に生かす取組みを進めます。また、地域の地形や特性を学ぶ取組みを地域と協働でさらに進めます。

### 【4年間の事業例】

- 山陰海岸ジオパークの取組みなどを通じて、豊岡市の地理的特徴を学ぶ機会を提供します。
  - 豊岡市で過去に起こった大災害の記憶を風化させない取組みを全世代で進めます。
  - 地区内の防災まち歩きを実施します。
- 等

## イ 世代間・地域内交流が行われている

被害は、共助により軽減することができます。大災害が起きたときに、真っ先に駆けつけ行動することができるのは、近隣住民です。災害発生時における地域での支えあい・助けあいの心を育むため、日頃から行政区内の世代間交流や地域内交流を促し、災害に強いコミュニティを形成します。

### 【4年間の事業例】

- 行政区別防災マップを正しく理解（災害リスクの把握）した上での避難訓練を実施します。
  - 地域防災学習会等において、経験者から過去の災害について学ぶ機会をつくります。
  - 地域内の要援護者を積極的に知る機会をつくります（運動会やラジオ体操、市民総参加訓練等、区民全員が集う機会での異世代間の交流）。
- 等

## ウ 災害に備えた行動や訓練が実践されている

共助は市民の生命が守られてこそ機能します。災害が起きたときに、まず、自分と家族の命は自分たちで守る訓練を実践します。また、自助にしっかりと取り組んだうえで、自主防災組織を設立し定期的な活動を促進します。

### 【4年間の事業例】

- 家具の転倒防止対策や異常を感じたら早めに自主避難を行います。
  - 大雨の時は自宅2階の山とは反対側で過ごすよう周知します。
  - 災害時要援護者個別支援計画の作成の推進・行政区別防災マップのねらいを理解したうえでの避難訓練を実施します。
- 等

## 主要手段1 自然との共生が徹底されている

### 具体的手段(2) 自然と折り合う暮らしがまちに根付いている

私たちは、一度は日本の野外で絶滅したコウノトリをシンボルに、「コウノトリも住める豊かな環境をつくる」取組みを進めてきました。

コウノトリ育む農法や湿地再生事業などの取組みにより、コウノトリが飛び交う風景を取り戻すことができました。その取組みは、世界でも稀な成功例として評価を受けています。しかし、豊かな自然環境を取り戻すには、なお長い時間とエネルギーが必要です。

環境問題は、単に社会や経済の構造だけではなく、人々のライフスタイルにも起因しています。

私たちは、自然との触れ合いを楽しみながら、本市の自然環境に適合したまちづくりとライフスタイルを確立する取組みをさらに積極的に進めていきます。

### ■取組方針

「昔は、川の水より魚のほうが多かった」という話を聞いたことがあります。それほど自然が豊かであったということの表現として理解できます。「昔は、円山川の橋の上から、サケの大群が黒々と上っていくのが見えた」という方もあります。

コウノトリは、野に放たれ、野外のコウノトリは100羽を超えました。しかし、そのような豊かな自然はまだ失われたままです。

幸い豊岡には、コウノトリ放鳥後の野外での活動や繁殖に関する10年以上の観察データと科学的知見の蓄積があります。それらを活用して、「コウノトリも住めるような豊かな自然」を効果的・効率的に再生する取組みを進めます。

また、この地の自然と折り合う暮らしぶりを再構築し、生きものがあふれる自然の再生や地球温暖化対策を強力に進めます。

- ア 市民が豊岡の自然再生や地球温暖化対策の必要性を理解し、実践している
- イ 市民、地域、企業、団体等の普段の活動の中に環境適合性が浸透している
- ウ 持続可能な地域資源の利用が促進されている



田結湿地

## ア 市民が豊岡の自然再生や地球温暖化対策の必要性を理解し、実践している

市民が自然環境について学び体験できる機会を提供します。また、市民が自然環境に適合した暮らし方や生活習慣を学ぶ機会を提供します。豊岡の自然再生の実践を重ねます。

### 【4年間の事業例】

- 環境教育の充実、生きもの調査の実施、自然観察会の実施を支援します。
  - ラムサール条約登録エリアでの交流や学習を推進します。
  - 「豊岡自然再生アクションプラン」を策定し、モデル地区での実践を重ねます。
  - CO<sub>2</sub>排出量の削減など、地球温暖化抑制に努めます。
- 等

## イ 市民、地域、企業、団体等の普段の活動の中に環境適合性が浸透している

市民をはじめ、地域や企業等が環境問題解決のために各々が担う役割を理解し、行動に移すことを目指します。環境に適応した活動への支援、協力等に努め、実践を進めます。

### 【4年間の事業例】

- 小さな自然再生保全等の活動を支援します。
  - 豊岡型ライフスタイルを推進します。
  - 子どもの野生復帰大作戦を推進します。
  - 省エネ活動を推進します。
- 等

## ウ 持続可能な地域資源の利用が促進されている

資源は限りあることを市民一人ひとりが認識し、地域内で必要となる資源は地域で賄うという資源の地産地消を念頭におき、持続可能な地域資源の利用を促進します。

### 【4年間の事業例】

- 太陽光エネルギー、木質燃料の利用を進めます。
  - 農林水産物の地産地消に取り組みます。
  - 畜産と耕種の連携を進めます。
- 等

## 主要手段1 自然との共生が徹底されている

### 具体的手段(3) 環境と経済の共鳴が広がっている

私たちは、環境を良くする取組みによって経済が活性化し、経済の活性化が誘因となって環境を良くする取組みがさらに広がる、環境と経済が共鳴する関係を環境経済と名付け、その実践を広げる「環境経済戦略」に取り組んできました。

この戦略は、①環境を良くする取組み自体の持続可能性を確保し、②地域の経済的自立を図り、③自らの誇りにつなげることを狙いとしています。

世界各地で環境保全活動が経済的利益と衝突し、ときに挫折する中で、本市の環境経済戦略の取組みは、世界のモデルとなる可能性を持っています。

今後も、市民、地域、企業、団体、行政のさまざまな主体がお互いに知恵を出し合い、協働しながら、この取組みを強力に推進し、豊かな環境の保全と経済活性化の両立に挑戦していきます。

### ■取組方針

人々が日々の暮らしを続けるうえで、経済は、決定的に重要です。その経済が環境と対立関係にある限りは、環境問題の解決は困難です。

環境行動が経済を味方につけて、その推進力とする取組みを進めます。

- ア 環境経済の考え方に共感する市民が増えている
- イ 環境経済事業に取り組む企業が増えている
- ウ 環境負荷低減によるコスト削減に取り組む企業が増えている

#### ア 環境経済の考え方に共感する市民が増えている

環境と経済が共鳴し、好循環を生み出す「環境経済」という考え方が市民に理解され、その取組みを応援してもらえるように啓発活動に努めます。

##### 【4年間の事業例】

- 「環境経済事業」認定事業者による合同イベントを行い、各事業所が作った商品をPRします。
- 市内の飲食店や城崎温泉などの宿泊施設などで地元食材を活用してもらうよう働きかけます。
- 等

#### イ 環境経済事業に取り組む企業が増えている

利益を追求し、かつ環境改善を目指す「環境経済事業」に取り組む企業を支援します。

##### 【4年間の事業例】

- 「環境経済事業」認定事業者に対して、新技術開発や販路拡大などについて支援します。
- 環境経済事業に認定されている事業者間のネットワークを構築し、情報共有や新ビジネスの創出を支援します。
- 等

#### ウ 環境負荷低減によるコスト削減に取り組む企業が増えている

市内企業が環境負荷の低減に取り組むことによって、コスト削減を図り、利益を上げられるように支援します。

##### 【4年間の事業例】

- エコ事業所宣言に取り組む企業を増やします。
- 環境経営セミナーを開催し、環境経営に関するノウハウを企業に提供します。
- 豊岡市の下水道汚泥処理による省エネルギー・創エネルギーを推進します。
- 等

## 目標値

具体的手段(1) 災害に備え、地域の防災力が高まっている

評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
年1回以上の訓練実施区・町内会の割合	89.7% (322区)	90.0%程度を維持 (323区)
自主防災組織結成率	79.7% (286区)	100.0% (359区)
区・町内会での避難行動要援護者個別支援計画の策定状況 (作成が必要な全ての区に対する策定済みの区の割合)	33.9% 81区/239区	50.0% 120区/239区

具体的手段(3) 環境と経済の共鳴が広がっている

評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
「エコ事業所宣言」取組み事業者数	10社	50社
環境経済認定事業者数	65事業	100事業

## 関連データ

### ■北但大震災（北但馬地震）における被害状況

地域	全焼	全壊	半壊	破損	死者	負傷者
豊岡	1,137戸	724戸	588戸	2,148戸	136人	581人
城崎	575戸	61戸	56戸	167戸	283人	211人
竹野	—	31戸	72戸	593戸	—	—
日高	—	5戸	23戸	—	—	—
出石	—	5戸	200戸余	—	1人	—
但東	—	—	—	12戸	—	—
合計	1,712戸	826戸	939戸余	2,920戸	420人	792人

資料：市防災課

### ■戦後の代表的な水害

年月日	洪水要因	流域平均 2日雨量	最高水位 (立野)	浸水戸数
平成16年10月20日	秋雨前線・台風23号	278mm	8.29m	7,944戸
平成2年9月20日	秋雨前線・台風19号	364mm	7.13m	2,508戸
昭和54年10月19日	台風20号	211mm	6.74m	1,016戸
昭和51年9月10日	台風17号	322mm	6.92m	3,022戸
昭和40年9月10日	台風23号	233mm	6.86m	7,788戸
昭和36年9月15日	第二室戸台風	184mm	6.87m	1,933戸
昭和34年9月26日	伊勢湾台風	253mm	7.42m	16,833戸

注)流域平均2日雨量（出典：円山川河川整備計画(平成25年3月近畿地方整備局)）

注)浸水戸数は、旧豊岡市、旧城崎町、旧日高町、旧出石町の合計数値。平成16年（2004年）台風23号時の浸水戸数は、合併後の豊岡市の合計数値。（出典：国土交通省豊岡河川国道事務所「明日へ生かそう！地図が伝える水害体験」）

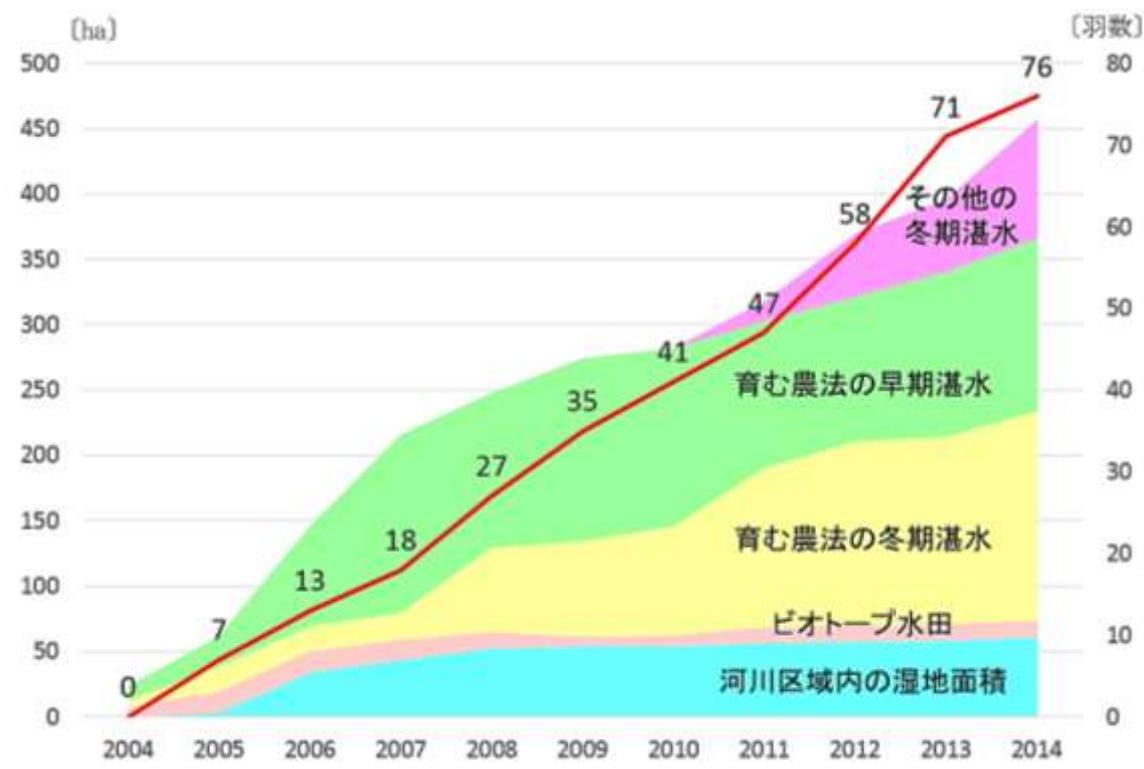
■台風23号（平成16年）における被害状況

（平成17年3月25日現在）

地 域	人的被害				住家被害					
	死者	行方不明者	負傷者		全壊		大規模半壊		半壊	
			重傷	軽傷	損害割合 50%～		損害割合 40%～50%		損害割合 20%～40%	
	人	人	人	人	棟	世帯	棟	世帯	棟	世帯
旧豊岡市	1		19	27	231	396	849	866	2,081	2,358
旧城崎町					1	1	6	6	139	148
旧竹野町										
旧日高町	2		3		55	64	143	143	287	287
旧出石町	2		1	1	34	62	77	83	130	137
旧但東町	2				12	7	7	6	14	13
合 計	7	0	23	28	333	530	1,082	1,104	2,651	2,943

地 域	住家被害									
	一部損壊		床上浸水						床下浸水	
			小計		損害割合 10%～20%		損害割合 ～10%			
	棟	世帯	棟	世帯	棟	世帯	棟	世帯	棟	世帯
旧豊岡市	200	200	278	309	218	244	60	65	2,208	2,394
旧城崎町	21	21	125	137	68	80	57	57	311	348
旧竹野町	11	11	5	5			5	5	23	23
旧日高町	8	8	66	66	42	42	24	24	475	475
旧出石町	21	21	53	55	35	37	18	18	145	149
旧但東町	31	31	18	15	9	6	9	9	164	154
合 計	292	292	545	587	372	409	173	178	3,326	3,543

■コウノトリと湿地再生の相関図



## 主要手段2 地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている

### 具体的手段(1) 伝統的な町並みなどが大切にされ、活用されている

グローバル化の進展で、世界は急速に同じ顔になりつつあります。逆にローカルであること、地域固有であることが世界で輝くチャンスにつながります。

また、グローバル化の進展により、世界は急速に小さくなりつつあります。インターネットの発達などによって、本市のような小さなまちでも、世界の人々と直接つながることが可能になってきました。

私たちは、大正14年(1925年)の北但大震災で壊滅的な被害に遭った城崎温泉の復興に当たり、再び木造三階建ての町並みを復活させてきました。また、出石の伝統的建造物群保存地区の取組みを進め、近年では、近畿に現存する最古の芝居小屋「出石永楽館」を復活させてきました。

### ■取組方針

作っては壊し、作っては壊すという「記憶喪失」のようなまちではなく、受け継いだものを守り、新しい工夫を付け加え、次へと引き渡していく、「蓄積」を基本としたまちづくりを進めます。

「東京」を基準にして豊岡を考えるのではなく、絶えず世界を意識しながら豊岡固有の価値を再認識し、世界に通用するローカルを磨いていきます。

- ア 地域固有のもの(こと)に価値があることが認識されている
- イ 地域資源の価値が高まっている
- ウ 地域資源の価値の保全や再生の活動が活発になされている



焼き杉板の町並み(竹野)

地磁気逆転という地球科学上の大発見がなされた玄武洞を拠点とする山陰海岸ジオパーク、竹野の焼き杉板の町並みやジオカヌーの取組み、日高における神鍋高原や植村直己の精神を引き継ぐ冒険教育の取組み、但東の美しい田園景観や安国寺・ドウダンツツジなどが、まちの大きな魅力となり、国内外から多くの来訪者を迎えています。

世界で輝く資源とチャンスは、私たちの足元にあり、世界に通用する質の高い「ローカル」を磨いていきます。

#### ア 地域固有のもの（こと）に価値があることが認識されている

地域固有の歴史、伝統、文化が、世界に通用する価値があるという気付きを芽生えさせる取組みを進めます。

##### 【4年間の事業例】

- 地域固有の価値を次世代に継承していくためのふるさと教育を進めます。
- 地域の歴史を知る市民フォーラムや出前講座等を実施します。
- 世界で評価されるような成功事例を創ります。  
等

#### イ 地域資源の価値が高まっている

今ある資源に工夫を加えることにより、世界に通用する質の高い「ローカル」へと磨きをかけます。

##### 【4年間の事業例】

- 歴史・文化資源の修繕に、擬木などを使わず”本物”にこだわり保存します。
- 地域の伝統的な町並みを保存する取組みを進めます（例：竹野の焼き杉板の町並み保存）。  
等

#### ウ 地域資源の価値の保全や再生の活動が活発になされている

伝統的な町並みなどの保全や再生を行うことで、まちの活性化につながる取組みを進めます。

##### 【4年間の事業例】

- 町並みなどを保全・再生する団体等の活動を支援します。  
等

## 主要手段2 地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている

具体的手段(2) 地域の資源が発掘され、つながり、連携が強まっている

インバウンドの増加の中で、名所旧跡のみならず、その地の人々にとって「普通」の景観や暮らしが人々を惹きつけるようになっていきます。私たちは、自然、歴史、伝統、文化など受け継いできたものの中に、新たな資源を見出すことができるはずです。

個々の資源は、つながることにより新たな価値を生みだすことができます。

来訪者の市内での滞在日数と時間を増やすためにも、地域固有の資源をさらに磨き、つながりを強化することは極めて有効な方策です。

官民共同で設立した一般社団法人豊岡観光イノベーションを中心に、市内外の事業者や組織とも連携し、市内にあるさまざまな資源を発掘し、組み合わせ、まちの魅力を世界へと発信していきます。

基本構想

市政経営方針

### ■取組方針

自分たちの足元に新たな資源を見つけ、つなげ、磨くことによって観光にイノベーションを起こし、その観光によってまちのイノベーションを起こします。

- ア 官民連携による新たなツーリズムが生まれている
- イ 地域間や産業間のつながりが深まっている
- ウ 必要な情報がターゲットに届いている

## ア 官民連携による新たなツーリズムが生まれている

個々の資源が持つ学術的、歴史的価値をつなぎ、来訪者がワクワクする豊岡らしい新たなツーリズムを展開します。

### 【4年間の事業例】

- 宿泊と農村体験など地域密着型の様々なツーリズムに取り組みます。  
等

## イ 地域間や産業間のつながりが深まっている

観光産業だけでなく、他分野の産業との横断的連携や市内の地域間連携を促進します。

### 【4年間の事業例】

- 地域が持つ素材を「着地型ツアー」として企画・商品化を行い、国内外へ向けた流通経路を確保します。  
等

## ウ 必要な情報がターゲットに届いている

世界中から多様な価値観を持つ人々に訪れてもらえるよう、外国人をターゲットとした情報発信等、インバウンド観光に取り組みます。

### 【4年間の事業例】

- 国内外のデータ収集・分析等の観光地マーケティングを行います。
- 英語とフランス語による、宿泊予約サイト「Visit Kinosaki」を運営し、地域の魅力を全世界に発信するとともに、地域のビジネスチャンスを拡大します。  
等

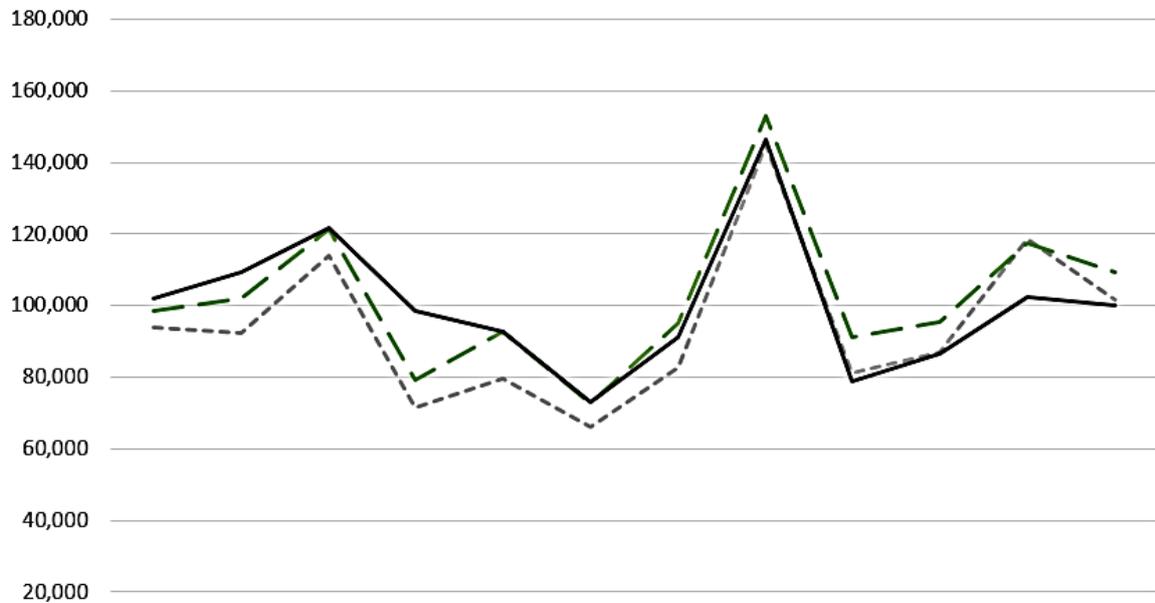
## 目標値

具体的手段(2) 地域の資源が発掘され、つながり、連携が強まっている

評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
外国人宿泊者数	44,648 人泊 (H28年)	100,000 人泊 (H32年)

## 関連データ

### ■ 宿泊数の推移（市内）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
---26年合計	93,764	92,284	113,790	71,506	79,667	66,247	82,623	144,889	81,304	86,957	118,677	101,691
- - -27年合計	98,503	101,901	121,438	79,310	92,718	72,769	95,075	152,866	91,266	95,327	117,588	109,396
—28年合計	102,001	109,330	121,726	98,562	92,624	73,115	91,226	146,546	78,980	86,592	102,363	99,992

出典：大交流課資料（宿泊施設への聞き取り、入湯税から算出）



長さ 17m の棒がぶつかりあう喧嘩だんじり（出石）

### 主要手段3 優れた文化芸術が創造され、人々が楽しんでいる

具体的手段(1) 優れた文化芸術に身近に触れられる環境が整っている

城崎国際アートセンターには国内はもとより、世界中から優れたアーティストが滞在制作を目的に続々とやってくるようになりました。

出石永楽館では毎年永楽館歌舞伎が上演されて好評を博しています。

「子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭（おんぷの祭典）」は、市民と行政が協働して世界で活躍する音楽家を招き、子どもたちに優れた音楽に触れる機会を提供する取組みとして定着しつつあります。子どもたちが文化芸術のセンスを身に付けることは、豊かに生きていくうえで極めて重要です。

市民の心の豊かさやまちの魅力を高めるため、アーティストを積極的に受け入れ、文化芸術を創造し、誰もが文化芸術に気軽に触れ合い、楽しむことができるまちを創り上げていきます。

基本構想

市政経営方針

#### ■取組方針

優れた文化芸術は、人々の心を豊かにするだけでなく、まちの質を高め、多くの人々を惹きつけ、活力を生み出します。

優れた文化芸術は国境を越えて人々の心を打ちます。その普遍性を豊岡も身につけ、ローカル&グローバルの実現を図ります。

ア 優れた文化芸術が暮らしの中に受け入れられている

イ アーティストを応援する風土が育っている

## ア 優れた文化芸術が暮らしの中に受け入れられている

市民が、文化芸術は、日々の暮らしを豊かにし、観光やまちの活性化など、まちづくりにも大きな役割を果たすということに気づき、文化芸術が有する価値を理解してもらえよう、優れた文化芸術に触れられる機会をつくります。

### 【4年間の事業例】

- 子どもたちが優れた文化芸術に触れられる機会をつくります。
- 優れた文化芸術を鑑賞する機会を増やします。
- 優れた指導者による文化芸術の体験機会を提供します。
- 等

## イ アーティストを応援する風土が育っている

文化芸術の力を信じ、アーティストを受け入れる市民、応援する市民が増えるよう、アーティストと触れあえる機会をつくります。

市民とアーティストがともにまちの一員として、居心地がよいと感じられる空間や体制を整えます。

### 【4年間の事業例】

- アーティスト・イン・レジデンスによる試演会やワークショップなど、アーティストと市民との交流の機会をつくります。
- 「観光・芸術」の人材を育てる専門職大学を誘致します。
- アーティストや劇団、ダンスチーム、クリエイター等の移住を推進します。
- 国際的演劇祭の開催について検討します。
- 等

### 主要手段3 優れた文化芸術が創造され、人々が楽しんでいる

具体的手段(2) 文化芸術による交流が盛んになっている

文化芸術と観光は、親和性が高いと言われています。

城崎では、演劇、ダンスなどの舞台芸術と観光を融合させた世界最先端のパフォーミングアーツ・ツーリズムの取組みが始まり、永楽館歌舞伎も全国から人々を集めています。

また、私たちのまちには、古くから受け継がれてきた伝統芸能、祭などの伝統行事があり、人々を惹きつける大きな魅力となりえます。

観光は、まちと来訪者との総合コミュニケーションであり、優れた文化芸術は、まちのコミュニケーション能力を高め、まちの魅力を向上させます。

文化芸術と観光の融合による交流人口の拡大を図りながら、大交流の実現をめざしていきます。

基本構想

市政経営方針

#### ■取組方針

世界各地から、その地の文化を楽しむために人々がやってきます。文化芸術の取組みと観光の取組みの融合を進めます。

- ア 地域の伝統文化が守られている
- イ 文化芸術と観光の親和性が理解されている
- ウ 他の観光資源とつながり、まちの魅力が高まっている

## ア 地域の伝統文化が守られている

地域には、それぞれの風土の中で生まれ、繰り返し守り伝えられてきた伝統文化があります。

地域の貴重な財産である伝統文化は、外国人や都市部の人たちにとっては、新鮮な文化として受け入れられる魅力と可能性を秘めています。

伝統文化を絶やさないためにも、他者（市外者・外国人等）の参加を受け入れるなど、新たな文化コミュニティの輪を広げ、観光との連携を促進します。

### 【4年間の事業例】

- 古くから受け継がれてきた伝統芸能、祭など伝統文化を大切にします。
  - 伝統文化の担い手として外部の人たちの受入れを促進します。
- 等

## イ 文化芸術と観光の親和性が理解されている

伝統文化や文化芸術には、人と人とのつながりを生み出すとともに集客につながるなどの力があります。市民が、文化芸術における観光資源としての価値に気づき、成功体験を重ねることにより、さらなる理解を醸成します。

### 【4年間の事業例】

- 永楽館歌舞伎など地域資源を活かした文化芸術を発信します。
  - アーティスト・イン・レジデンスのアーティストと地域との交流を進め、地域の魅力の再発見や新たなにぎわいを生み出します。
- 等

## ウ 他の観光資源とつながり、まちの魅力が高まっている

文化芸術を、町並みや宿、食、アクティビティなどの他の観光資源との連携を深め、文化芸術の新たな価値を創造し、魅力を高めます。

### 【4年間の事業例】

- パフォーミングアーツ・ツーリズムなど、文化芸術と観光を結びつけます。
- 等

## 目標値

具体的手段(2) 文化芸術による交流が盛んになっている

評価指標	現状値	目標値 (H33年度)
豊岡アートシーズン関連施設来場者数	324,390人 (H27年度)	343,850人

## 関連データ

### ■アーティスト・イン・レジデンス応募と採択の状況

年度	応募		採択	
	団体数	国	団体数	国
2016年度	40団体	13カ国	17団体	7カ国
2017年度	43団体	8カ国	20団体	5カ国
2018年度	94団体	23カ国		



城崎温泉泊覧会企画「コウノトリダンス」



舞台と客席との一体感が魅力の永楽館歌舞伎

## 主要手段4 多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている

### 具体的手段(1) 多様性がまちの原動力になっている

本市は、障がいの有無、性別、年齢差、国籍の違い、価値観・文化・習慣の違いなど、多様な人々から成っています。その傾向は、グローバル化の進展の中で、今後さらに急速に進んでいきます。私たちは、命への共感に基づき、その違いを受け入れ、理解し、ともに生きていく努力を重ねる必要があります。

違いを受け入れ、ともに暮らしていくことは、必ずしも容易なことではありません。

私たちは、コウノトリ野生復帰の取組みを進めるにあたり、異なった意見を持つ人々との対話を重ね、お互いの立場を理解したうえで粘り強く議論を重ね、再びコウノトリを大空に帰すことができました。環境経済戦略は、環境と経済の対立を克服するものとして考案されました。

まちや組織の中に多様な人々がいて、対話を通じて共感を育みながら違いを乗り越えていく習慣がまちの中に根付けば、まちや組織の活力となります。

### ■取組方針

女性、高齢者、障がい者や外国人等の多様な人々が、地域社会や地域経済の担い手として期待され、現に活躍するまちづくりを進めます。

とりわけ、本市において女性の若者回復率が男性の半分しかない実態や常態化する人手不足を考えると、地域社会と地域経済の両方において「多様性を受け入れ、互いに支えあうまち」へと、まちづくりの舵を切っていくことは喫緊の課題でもあります。

ア 多様な人々がまちづくりや経済活動の中で生き生きと役割を果たしている

イ 多様性の価値が理解され、活かされている

同時に、多様性の存在は、社会経済の急激で劇的な変化が予測される中であって、まちや組織の適応力を確保するうえで不可欠な要素となります。

互いの存在を当然のこととして大らかに受け入れ、折り合いをつけながら共生するまちを教育、社会、経済、文化などの活動の中で築いていきます。

#### ア 多様な人々がまちづくりや経済活動の中で生き生きと役割を果たしている

女性、高齢者、障がい者や外国人のまちづくりへの参加や就労等社会参加を高め、誰もが普通にまちに出て、働き、暮らすまちづくりを進めます。

##### 【4年間の事業例】

- 女性の就業や社会参加を促します。特に子育て中の女性のために、一時預かり保育、病児・病後児保育、休日保育などの保育サービスを充実します。
  - ワークライフバランスを普及・推進します。
  - 高齢者の創作活動、就労や社会活動への参加を支援します。
  - 障がい者の就労の場づくりや芸術活動など、潜在的な能力が生かせるよう支援します。
  - 海外の大学等と連携して、外国人のインターンシップ受入れを進めます。
- 等

#### イ 多様性の価値が理解され、生かされている

多様な人々が互いを理解しコミュニケーションを深めることで、様々な視点や知識が生かされ、まちの課題を解決する能力も高まります。市民が多様性を理解し享受する社会をめざします。

##### 【4年間の事業例】

- 専門職大学の開校に向けて、教授などの専門分野の人材の活用を検討します。
  - 多様な他者を理解する市民を増やすための、研修会等を開催し啓発を進めます。
  - 小中学校で意見の異なった人の話を聞く力を子どもの頃から身につける「コミュニケーション教育」や個性の理解を深める人権教育を促進します。
- 等

## 主要手段4 多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている

具体的手段(2) さまざまなつながりの中に、それぞれの役割が果たされている

人は、支え合いなしには生きていくことができません。そのことを私たちは、平成16年(2004年)の台風23号災害をはじめ、各地のさまざまな災害の中で家族やコミュニティのつながりの大切さを実感し、学んできました。

つながりの中には役割があります。役割は他者からの期待であり、その役割を果たすことによって自身の存在意義を確認できる重要な機能を果たします。

本市内では、食農・環境・防災教育などのいのちの教育や被災地支援などのほか、不登校や引きこもりのための「居場所づくり」が実践され、さまざまな活動を通して若者の役割が実感できる場となっています。

### ■取組方針

すべての人々が自分の能力を生かして活躍する社会を実現するためには、様々な組織のつながりが必要であり、人々の居場所づくりを進めていきます。

- ア つながりを創る人や組織の活動が増えている
- イ つながりを醸成する場が増えている



障害福祉事業所による授産製品の販売

また、市内 29 の地域コミュニティ組織では、「自分たちの地区は自分たちで守る」ことを基本に、地域づくりや課題解決のために、地区内のさまざまな人々が役割を持ち、連携して取り組みを行っていくことが期待されます。

地区や図書館、文化芸術関連施設、市庁舎などのさまざまな場所において、障がいの有無、性別、年齢差、国籍の違い、価値観・文化・習慣の違いなどに関わらず、人々をつなぎ、居場所と出番を提供する仕組みや取り組みを進めます。

#### ア つながりを創る人や組織の活動が増えている

多様な人々が地縁や国籍、特技や思想などを基に、いろいろな組織やコミュニティに参加できるよう「つながりづくり」を支援します。さらに、組織やコミュニティの活動を組織間の協働に発展させ、地域の活性化へとつなげます。

##### 【4年間の事業例】

- 外国人や子育て中の女性なども参加できるゆるやかな組織化を支援します。
- 組織やコミュニティの活動を促進する中間支援組織の立ち上げを支援します。
- 社会的に立場の弱い人たちも、地域の中でいきいきと活躍できる場や機会を増やします。  
等

#### イ つながりを醸成する場が増えている

つながりができ、集う場ができれば、そこに役割が生まれます。様々なニーズに応じた居心地のよい場所が増えるように支援します。

##### 【4年間の事業例】

- 当事者組織（認知症カフェなど）が市内各地に組織化されるよう支援し、市民とつなぐ機会・場所を増やします。
- 公共施設を活用し、多様な人々が気軽に利用できるカフェやくつろぎの場を増やします。
- 演劇を用いたワークショップ等の開催により、他者を理解する術（すべ）の普及を図ります。
- 幼児期の運動遊びの実践を踏まえ、発達障害の子らの運動療育の推進を検討します。  
等

## 目標値

具体的手段(1) 多様性がまちの原動力になっている

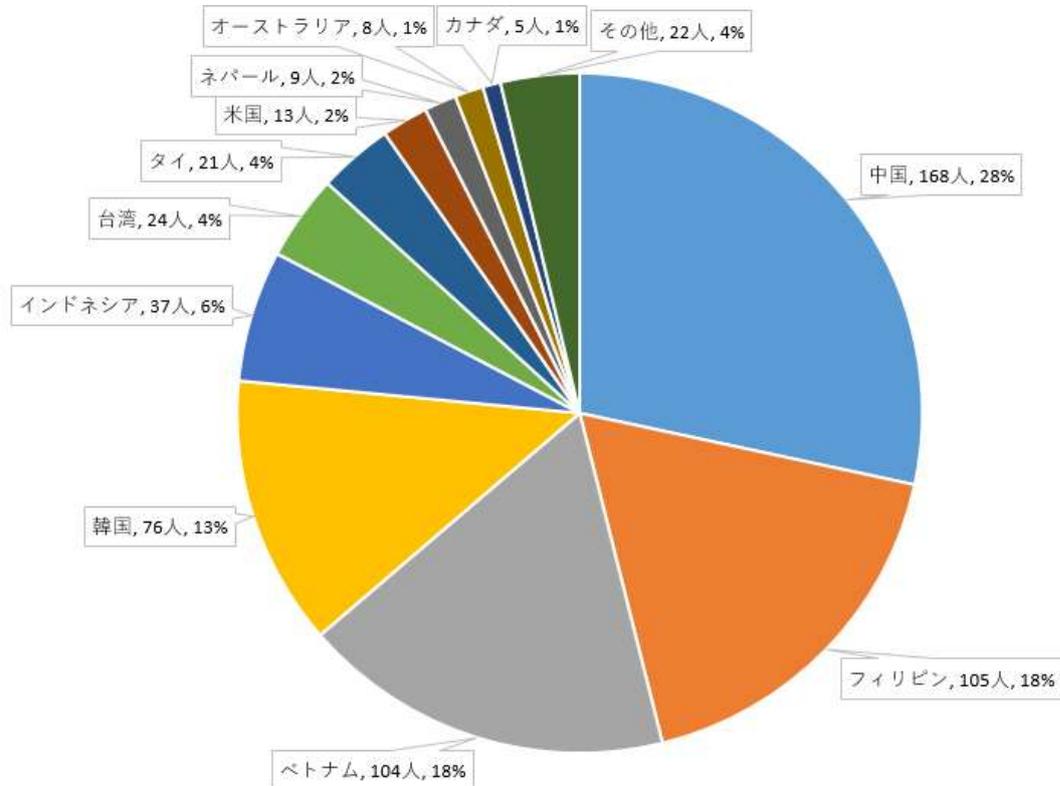
評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
女性の就業率(国勢調査)	68.8% (H27)	70.0% (H32)

具体的手段(2) さまざまなつながりの中に、それぞれの役割が果たされている

評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
組織やコミュニティの活動を促進する中間支援組織の設立	なし	あり

## 関連データ

■市内在住外国人の状況(23カ国592人/平成28年度末)



■潜在労働力（未就業中の子育て女性層・シニア層）を把握するためのアンケート調査結果

	子育て女性層				シニア層			
	20歳代	30歳代	計	割合	60歳代	70歳代	計	割合
未就業者	51人	147人	198人	100.0%	208人	257人	465人	100.0%
うち仕事をしたい人	41人	129人	170人	85.9%	93人	71人	164人	35.3%

出典:エコバレー推進課資料（市民アンケート調査結果抜粋）

## 主要手段5 内発型の地域産業がすくすくと育っている

具体的手段(1) 地域産業が切磋琢磨し、新たな道を切り拓いている

近年、地域経済を「庭」、地元の中小企業を「植物」に見立て、地域という土壌を生かして地元の中小企業を大切に育てることにより地域経済を活性化させる「地元企業が成長する環境づくり」が注目を集めています。

企業家精神に富んだ中小企業の活動が活発になることで、地域内の企業活動への相乗効果を生み出すことができます。

起業や既存産業の高度化などの挑戦を促すため、商工業団体、金融機関、行政などが協働して、市場や地域ビジネスに関する情報の提供、技術力の高度化支援、企業間ネットワークの構築支援など、地域産業活性化のための環境整備を進めます。

特に、若者が失敗を恐れずに新たな事業に挑戦できる環境整備に努めます。

### ■取組方針

世界的規模でビジネスを展開するグローバル企業は、国際競争の激化の中で、時に地方からあつという間に撤退していきます。地域の一員としてのその未来に対する責任感を持つ企業を支援し、その集積を図ります。

また、域内循環を高めるため、市内や周辺地域の商店・事業所などが、地元の材料を用いて、市民の暮らしを支える魅力的な商品・サービスを提供する「半径 20 キロメートルの経済圏」の強化を図ります。

本市を訪れる人たちにとっては「地のもの」が大きな魅力となります。

- ア 市内企業の経営の安定と強化が図られている
- イ 市内企業間の事業連携や取引が強化されている
- ウ 市内企業の事業の拡大や、新たに起業・創業する人が増えている



異業種交流の場として活用できる  
コワーキングスペース「FLAP TOYOOKA」

#### ア 市内企業の経営の安定と強化が図られている

市内企業が優秀な人材を確保するため、働きやすい職場の環境づくりの促進を支援します。また、事業活動の安定や強化に向けた支援を行います。

##### 【4年間の事業例】

- まちを挙げて若者の暮らしを応援する福利厚生制度を充実します。
- 企業と高齢者・女性・障がい者とのマッチングを推進します。
- 事業の承継を支援します。
- 等

#### イ 市内企業間の事業連携や取引が強化されている

企業間の商品・サービス取引や企業連携による新たな事業が生まれるように、市内企業のネットワーク構築や必要な支援を行います。

##### 【4年間の事業例】

- 新たなビジネスを創出するきっかけをつくるため、異業種交流会を開催します。
- 県のものづくり支援センターを誘致し、連携による産業支援体制を整備します。
- ソーシャルビジネス創出のための機会をつくります。
- 等

#### ウ 市内企業の事業の拡大や、新たに起業・創業する人が増えている

市内産業の活性化に向け、市内企業の新分野進出や起業・創業を支える環境を整えます。

##### 【4年間の事業例】

- 先輩起業者と起業をしたい人とをマッチングする機会をつくります。
- 新技術、新サービスの導入に向けた支援を行います。
- クラウドファンディングの活用など、起業・創業を考えている人を支援します。
- 等

## 主要手段5 内発型の地域産業がすくすくと育っている

### 具体的手段(2) 豊岡ブランドが構築されている

コウノトリ育む農法を実施してきた人たちのたゆみない努力により、平成28年(2016年)、コウノトリ育むお米が日本最大の食味鑑定コンクールで日本一に輝きました。コウノトリ育むお米は、ブランド米として、国内はもとより世界に販路が拡大されようとしています。

豊岡鞆も、かつて激しい価格競争の中で衰退の道を歩んできましたが、近年、豊岡ブランドの構築によって活力を取り戻しつつあります。グローバル化が進展し世界市場での競争がさらに激化する中で、企業のコスト削減努力は当然ですが、地方の中小企業にとっては、価格競争に身を委ねることは必ずしも得策ではありません。

観光においても、地産地消の推進やサービス水準の向上を通じて高付加価値化を図り、収益力を強化する必要があります。

### ■取組方針

豊岡に拠点を置きながら、全国や世界で活躍する企業、すなわち、地域経済におけるローカル&グローバルを支援します。

- ア 豊岡固有の商品・サービスが磨かれ、魅力が高まっている
- イ 豊岡固有の高付加価値な商品・サービスが国内外に認知されている
- ウ 豊岡にしながら世界から評価されるモノ、技術、サービスを提供する企業が増えている



コウノトリ育むお米



豊岡鞆

コウノトリという環境シンボルを持つ本市において、環境経済戦略も豊岡ブランド構築<sup>※1</sup>の可能性を秘めています。

市内産業の高付加価値化によってもたらされる利益を、まち全体で享受することができれば、本市で働くことの価値が上がり、優れた人材確保にもつながります。

企業や業界などと行政との対話を通じて、さまざまな分野で豊岡ブランドの確立を進めます。

※1：高付加価値の商品やサービスを生み出す市内企業を増やす体制を築くことを意味します。

## ア 豊岡固有の商品・サービスが磨かれ、魅力が高まっている

豊岡の地域性を生かした代表的産業である城崎温泉、豊岡鞆、コウノトリ育むお米の地域性・固有性を磨き、さらに高付加価値化が進められるよう支援します。

### 【4年間の事業例】

- 地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業の活用を促し、全市的にインバウンド誘客を推進します。
- インバウンドを念頭に、まちのコミュニケーション能力を高め、心地よい観光サービスを提供します。
- 豊岡鞆の新製品開発等を支援します。
- コウノトリ育む農法に取り組む生産者を増やします。
- 等

## イ 豊岡固有の高付加価値な商品・サービスが国内外に認知されている

いくら良い商品・サービスでもその価値が知られ、認められなければ購入してもらえません。あらゆる機会を捉えて豊岡固有の魅力ある商品・サービスについて国内外に情報発信し、国内外に認知され、市民の誇りとなるよう取り組みます。

### 【4年間の事業例】

- メディア、SNSを活用した情報発信など、シティプロモーションを強化します。
- 豊岡の子どもたちに世界で活躍する企業の活動を伝えます。
- ふるさと納税返礼品に市内事業所の商品などを積極的に採用します。
- 等

## ウ 豊岡にしながら世界から評価されるモノ、技術、サービスを提供する企業が増えている

豊岡に拠点を置く企業が、本市にしながら世界から評価される商品・技術・サービスなどの創出に挑戦できる環境を整えます。

### 【4年間の事業例】

- 新技術・新サービスの導入に向けた支援を行います。
- 販路拡大に向けたマーケティングを支援します。
- 等

## 目標値

具体的手段(1) 地域産業が切磋琢磨し、新たな道を切り拓いている

評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
市内事業所の従業者数(経済センサス)	35,941人(H28年)	36,000人
市内事業所数(経済センサス)	5,163社(H28年)	5,200社
一人当たりの市内総生産額(名目)	334万円(H27年)	350万円
豊岡商工会議所・商工会などが関わった起業者の件数	12件/年(H28年度)	40件/年

具体的手段(2) 豊岡ブランドが構築されている

評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
城崎温泉外国人宿泊者数	40,345人泊 (H28年)	100,000人泊 (H32年豊岡市全域)
コウノトリ育む農法(無農薬)栽培面積	135ha	200ha

関連データ

■コウノトリ育む農法による水稲作付面積



■かばん出荷額の推移

(単位:億円)



## 主要手段6 子どもたちが地域への愛着を育み、豊岡で世界と出会っている

### 具体的手段(1) 子どもたちが豊岡のことをよく知っている

「子どもの野生復帰大作戦」や「生きもの共生の日」の取組みを通して、豊かな自然体験をすることや豊かな発想や命を大切に作る心、さらに“ふるさと豊岡を愛する気持ち”を育んできました。

さらに、自分の将来の生き方を考えるため、先進産業の職業人の講話を聞き、夢の実現を具体化していくキャリア学習などに取り組んでいます。

豊岡にも素晴らしい自然、歴史、伝統、産業などがあります。そのことを学び、楽しむことを通じて、子どもたちの本市への愛着と誇りを育む「ふるさと教育」に取り組んでいます。

### ■取組方針

子どもたちに普遍的な知識や法則ばかりを教えることに偏っては、子どもたちがローカル固有の知識や知恵を軽んじ、ひいてはローカルそのものを軽んじるようになって、東井義雄先生の言われる「村を捨てる学力」につながってしまいます。

豊岡の素晴らしい点を学び、普遍的知識を活用して地域を理解する体験を重ねることによって、「村を育てる学力」が身についていきます。

地域に根ざしながら、広く世界を学び、経験し、その上で地域に貢献する人材の育成に努めます。

ア 学校園でのふるさと教育が充実している

イ 地域での遊びや体験を通じてふるさとへの愛着が増している

## ア 学校園でのふるさと教育が充実している

ふるさと教育を通して、様々なふるさとの魅力を知ることができます。豊岡の生きもの、自然、文化、伝統、世界に誇る企業、名を遺した先人、また、それらのひと、もの、ことを通じて、関わりのある広い世界を知る取組みを進めます。

### 【4年間の事業例】

- 小中一貫教育によるふるさと教育を推進します。  
等

## イ 地域での遊びや体験を通じてふるさとへの愛着が増している

子どもたちが、ふるさとを実感し、記憶に焼きつけるため、地域コミュニティや関係団体と協力して様々な体験を提供します。それは、将来のあらゆる場面で、子どもたちを助けるアイデアに結びつきます。

### 【4年間の事業例】

- 子どもの野生復帰大作戦を通して、挑戦心を育みます。
- 地域の魅力を知る機会（まち歩きなど）をつくり、子どもと大人が交流する機会をつくり  
ます。
- 生きもの調査や自然観察会等を通じて、豊岡市の豊かな自然環境を学ぶ機会をつくり  
ます。  
等

## 目標値

具体的手段(1) 子どもたちが豊岡のことをよく知っている

評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童・生徒の割合	小学生 65.3% 中学生 59.9%	小学生 70% 中学生 70%

## 主要手段6 子どもたちが地域への愛着を育み、豊岡で世界と出会っている

具体的手段(2) 子どもたちがさまざまなコミュニティの中で役割を果たしている

但東中学校では、ふるさと豊岡の価値ある産業や文化、自然などについて学んだ成果を、修学旅行における東京アンテナショップの商業体験活動を通じて発信しています。

また、同地域内で行われている「イングリッシュ カフェ」は、英語で自分たちのふるさとを世界に伝えたいという地区の思いで、中学生や高校生が運営の中心的な役割を担い、遊びや日常生活の場面を通して、幼児や小学生に楽しく英語を学べる場をつくっています。

私たちは、地域のさまざまな機会を通して、子どもたちがかけがえのない存在として自らの存在意義を実感できる場—コミュニティを持つことができるように、子どもたちがまちの中でさまざまな役割を持ち、責任を果たすことができる機会を提供していきます。

### ■取組方針

役割は他者からの期待であり、他者からの期待は、人を支え、育てます。子どもたちも同様です。子どもたちが、今それぞれのやり方で家族や地域や人々の役に立つ経験をするを通じて、子どもたちの人間的成長を促します。

ア 子どもたちの活躍の場やそれを支える人材が増えている



イングリッシュカフェ（但東町高橋地区）

## ア 子どもたちの活躍の場やそれを支える人材が増えている

子どもたちも、家族の一員として、また、地域の一員・担い手として役割を持ち、活躍できる場や機会を提供します。また、子どもたちのやる気を支え育む人材を増やします。

### 【4年間の事業例】

- 顔見知り運動(夏休みラジオ体操)を推進します。
  - 子どもたちが地域の伝統・文化等を継承します。
  - 市民総参加訓練、自主防災活動に参加します。
- 等

## 目標値

具体的手段(2) 子どもたちがさまざまなコミュニティの中で役割を果たしている

評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
地域の行事に参加している児童・生徒の割合	小学生 90.3% 中学生 67.5%	小学生 95% 中学生 75%
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童・生徒の割合	小学生 38.2% 中学生 27.9%	小学生 45% 中学生 40%
地域社会などでボランティア活動に参加したことがある児童・生徒の割合	小学生 51.6% 中学生 72.8%	小学生 65% 中学生 85%

## 主要手段6 子どもたちが地域への愛着を育み、豊岡で世界と出会っている

具体的手段(3) 子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる

平成 29 年度 (2017 年度)、本市は、すべての小中学校に外国語指導助手を配置し、小学 1 年生から英語の授業を始めました。保育園、幼稚園、認定こども園での英語遊び保育との連続性を持たせ、外国語指導助手と英語に親しむことを通じて英語を身につける機会をつくります。

また、自分たちで演劇を作り、演じることを通じて、表現力や合意形成能力を身につけ、相互理解ができる力を育てるため、「コミュニケーション教育」を進めます。

これらの取組みを通して、性別や年代などを越えた対等な関係の中で、自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成していきます。

### ■取組方針

異質な他者との積極的な出会いを通じて、他者理解と自己理解を育み、子どもたちの成長を促します。

ア 子どもたちが多様な人々とコミュニケーションできる力を育んでいる



英語遊び保育

## ア 子どもたちが多様な人々とコミュニケーションできる力を育んでいる

人と人との関りを通じて、自分の思いを伝える力や、他者の思いを理解できる力を育み、コミュニケーション能力を高めていきます。

また、コミュニケーションツールとしての英語教育を実践します。

### 【4年間の事業例】

- 英語遊び保育、ALTのサポートによる英語教育を推進します。
- コウノトリ野生復帰で取材や視察に訪れる外国人と交流します。
- 学校訪問コンサート（おんぷの祭典）で様々な人と交流します。
- コミュニケーション教育を充実します。
- 城崎国際アートセンター利用者と交流します。
- 未来を創る高校生支援事業を実施します。

等

## 目標値

具体的手段(3) 子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる

評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
中学校卒業時の英語検定3級以上の合格者数	19.9% (28年度)	50%
外国の人と友だちになったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童・生徒の割合	小学生 72.8% 中学生 62.2%	小学生 90% 中学生 80%
話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができると思う児童・生徒の割合	小学生 72.2% 中学生 64.8%	小学生 80% 中学生 75%

## 第4章 市民の暮らしを支える施策の体系・主要事業

章	節	主要施策・主要事業
I 安全に安心して暮らせるまち		
	1 安全を守るまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 防災・減災力の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の治水事業や山腹がけ地の土砂災害対策の推進</li> <li>・市民総参加訓練による地域防災力の強化</li> <li>・自主防災組織の育成支援</li> <li>・住宅の耐震改修促進、大規模建築物耐震化助成 等</li> </ul> </li> <li>(2) 消防・救急体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドクターヘリ・カーとの連携強化</li> <li>・住宅用火災警報器の設置促進 等</li> </ul> </li> <li>(3) 安全な暮らしの構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全・防犯意識の啓発、消費生活センターの充実 等</li> </ul> </li> </ul>
	2 安心しておだやかに暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 健康づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診の充実、健康づくり環境の整備、地域での健康づくり支援 等</li> </ul> </li> <li>(2) 医療環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療の充実、救急等医療体制の充実 等</li> </ul> </li> <li>(3) 安心して暮らせる地域社会の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者見守りネットワークの整備、福祉サービスの提供 等</li> </ul> </li> <li>(4) 高齢者福祉の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間老人福祉施設への助成</li> <li>・在宅支援サービスの充実 等</li> </ul> </li> <li>(5) 介護保険制度の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防事業の推進、介護施設の整備・サービスの充実 等</li> </ul> </li> <li>(6) 障がい者福祉の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援の取組み、相談支援体制の充実 等</li> </ul> </li> <li>(7) 社会保障の適正実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児等医療費の自己負担軽減、各種医療費助成事業 等</li> </ul> </li> <li>(8) 斎場・霊苑の整備・適正管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東霊苑区画の使用促進 等</li> </ul> </li> </ul>
II 人と自然が共生するまち		
	1 人と自然が響き合うまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) コウノトリと共生する豊かな自然の保全・再生・創造 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境の保全、コウノトリの野生復帰事業 等</li> </ul> </li> <li>(2) コウノトリと共生する豊かな文化の保全・再生・創造 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育の推進、農村環境の整備 等</li> </ul> </li> </ul>
	2 循環型のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 循環型社会の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電の推進、ごみの減量・再資源化 等</li> </ul> </li> </ul>

章	節	主要施策・主要事業
	3 快適で美しいまちづくり	(1) 美しい環境の確保 ・公害防止の活動、不法投棄の監視強化 等 (2) 水道・下水道の整備 ・飲料水の安定供給、良好な水環境と快適な暮らしの確保
III 持続可能な「力」を高めるまち		
	1 地域経済を元気にするまちづくり	(1) 情報発信戦略の推進 ・豊岡エキシビションの実施、東京でのアンテナショップの開設 等 (2) 観光の振興 ・観光施設の整備 ・観光協会への支援、山陰海岸ジオパークの推進 等 (3) 農業の振興 ・コウノトリ育むお米の作付面積の拡大 ・国内外への販路拡大 ・農業スクールによる後継者育成、有害鳥獣対策 等 (4) 林業の振興 ・林道整備、間伐の推進、担い手支援 等 (5) 水産業の振興 ・漁業施設の整備、稚魚の育成・放流事業 等 (6) 商業の振興 ・空き店舗対策、中小企業融資制度 等 (7) 工業の振興 ・企業誘致、「豊岡鞆」等のブランド支援 ・環境経済事業の認定、ものづくり産業の支援 等 (8) 雇用対策の推進 ・職業紹介事業、職業訓練支援 等
	2 賑わいと魅力を創るまちづくり	(1) 総合的な土地利用 ・農道橋の耐震化・長寿命化の推進 ・地籍調査の推進 等 (2) 住環境の整備 ・市営住宅の維持管理 ・民間住宅の耐震改修支援、老朽危険空家対策 等 (3) 道路網の整備 ・高規格道路及び国県道の整備促進、市道の整備 等 (4) 公共交通の充実 ・空港利用促進、イナカー・コバス・チクタクの運行 等 (5) 魅力ある景観の形成 ・伝統的建造物群保存地区保存事業 等 (6) 特色のある公園の整備 ・都市公園の維持管理 等 (7) 地域情報化の推進

主要手段2  
関連

主要手段5  
関連

主要手段2  
関連

章	節	主要施策・主要事業
	3 活力を生むまちづくり	(1) 定住促進 ・空き家物件紹介制度、空き家改修費助成、大学生向け就職イベント等 (2) 魅力ある地域の形成
		<b>主要手段 2 関連</b>
IV 未来を拓く人を育むまち		
	1 健やかで心豊かな子どもを育むまちづくり	(1) 子育て環境の充実 ・母子健診・育児支援の充実 ・特定不妊治療助成の充実、保育サービスの充実 等 (2) 基礎となる力の定着と創造性を伸ばす教育の推進 ・就学前教育の充実、運動遊びの推進 ・小中一貫教育の推進 等
		<b>主要手段 6 関連</b>
		(3) 教育環境の充実 ・安全安心な学校施設整備、外国人英語指導助手招致 ・不登校・子育てを支援する「こども支援センター」の運営 等 (4) 家庭・地域教育力の向上 ・家庭教育の啓発、土曜チャレンジ学習、学校・家庭・地域の連携 等
	2 伝統・文化を未来につなぐまちづくり	(1) ふるさとを愛する心の育成 ・ふるさと教育の推進、トライやるウィークの実施 等
		<b>主要手段 6 関連</b>
		(2) 多文化共生の推進 ・国際交流事業 等
		<b>主要手段 4 関連</b>
		(3) 国内交流の推進 ・友好・姉妹都市交流事業 等
V 人生を楽しみお互いを支え合うまち		
	1 日々人生を楽しむまちづくり	(1) 生涯学習の推進 ・地区での生涯学習活動の促進、人権教育の推進、図書館事業の充実 等 (2) 芸術文化の振興と文化財保護 ・城崎国際アートセンターにおける舞台芸術活動支援 ・公演や公募展、顕彰事業の充実、文化財の保存活用 等
		<b>主要手段 3 関連</b>
		(3) 生涯スポーツの推進 ・体育施設の活用、全国規模のスポーツ大会の誘致 等 (4) 高齢者の社会参加・生きがいづくり ・高齢者の居場所づくり、生きがいづくりの推進 等
		<b>主要手段 4 関連</b>
	2 お互いを支え合うまちづくり	(1) 地域力の向上 ・地域コミュニティ組織の活動支援 ・コミュニティセンターの管理 等
VI 市政の運営		
	1 特色ある地域の成長と連携	

章	節	主要施策・主要事業	
		(1) 豊岡地域	<b>主要手段1 ～ 主要手段6 関連</b>
		(2) 城崎地域 ・城崎振興局プロジェクトの推進	
		(3) 竹野地域 ・竹野振興局プロジェクトの推進	
		(4) 日高地域 ・日高振興局プロジェクトの推進	
		(5) 出石地域 ・出石振興局プロジェクトの推進	
		(6) 但東地域 ・但東振興局プロジェクトの推進	
		(7) 6つの地域の連携 ・基本構想及び市政経営方針の策定	
	2 参画と協働のまちづくり		
		(1) 市民・行政パートナーシップ ・新しい地域コミュニティの推進 等	<b>主要手段4 関連</b>
		(2) 男女共同参画社会づくり ・啓発セミナーの実施、市事業での一時保育 等	
	3 新しい時代にふさわしい行政経営		
		(1) 効率的・効果的な組織の行政組織の充実 ・組織改革、民間企業からの人材活用、職員の人材育成 等	
		(2) 効率的・効果的な組織の行財政運営の推進 ・ふるさと納税による収入確保、使用料・手数料の適正化、行政改革 等	
		(3) 周辺市町や関係自治体との連携 ・定住自立圏構想の推進（但馬3市2町） ・クリーンパーク北但運営事業の推進、近隣市町との連携	